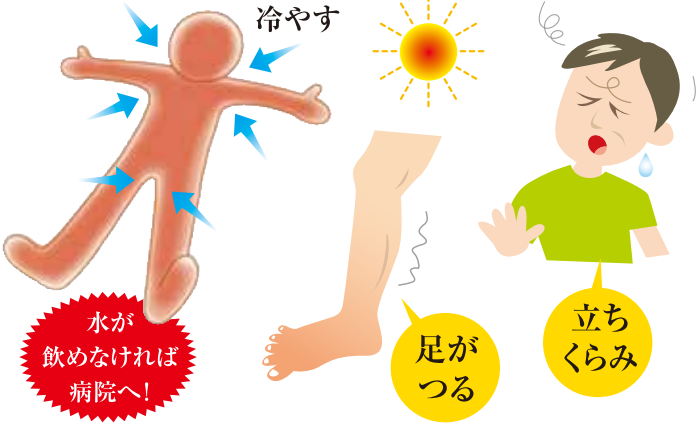


毎年のように最高気温が更新されるほど暑い夏が続きます。 真夏は人間も野菜も暑さで弱りますので 適切な対策を取りましょう。

1 作業者の安全確保

熱中症対策

熱中症は自覚症状がないまま、急に倒れてしまうことが多いです。初期症状が現れたらすぐに作業を中断して涼しいところでとにかく体温を下げましょう。



熱中症対策

- 涼しいところで横になる
- 水をかけたり、扇いだりして体を冷やす
- 首筋、脇の下、足の付け根を冷やす(右図矢印)

2 高温対策

真夏は土の温度が高くなり根が傷むことがあります。真夏には光を反射しやすい白マルチやシルバーマルチがおすすです。敷きわらには①土壌の乾燥防止 ②地温の上昇抑制などの効果があります。



3 大雨に対する野菜の管理対策


近年、平成30年7月豪雨のような記録的な大雨が増えていきます。畑が水につかると根腐れを起して枯れてしまうので、排水対策をしておきましょう。

- 早めに溝を掘り排水を促す。
- 大雨後は病気の発生が増えるので殺菌剤を散布する。
- 被害を受けた果実は摘果し、負担を軽くさせて草勢を回復させる。



水田転換畑は特に排水が重要

〈参考〉品目別での冠水害抵抗力

5日間の冠水に耐えたもの	さといも、やまいも、しそ等
2~3日の冠水に耐えたもの	らっかせい、にら等 
2日の冠水に耐えたもの	ねぎ、らっきょう、しょうが等
1日の冠水に耐えたもの	だいず、ごぼう、なす、セルリー、アスパラガス等
7~8時間以上の冠水で被害の著しいもの	いんげん、ほうれんそう、すいか、メロン、かぼちゃ、たまねぎ、きゅうり、キャベツ、トマト、いちご等

